



日本で一番古い町・酒々井

しずい駅フェス

8/31 (土)

16時~21時 JR 酒々井駅西口広場

ウエルカム すいか

無料




JAZZ 演奏 Soud Makers

江戸時代の茶屋を再現!
しがらき茶屋

煎茶と喜兵衛牡丹餅
セット販売



※しがらき茶屋・喜兵衛牡丹餅の由来は裏面記

うまいもん市
地元産品が並びます。
酒々井の隠し味を発見して下さい




フラメンコ スタジオ エスパニーヤ

B-net
こども縁日
おたのしみ!!




チャリティショー 藤原 けい

酒々井音頭

プログラム (予定)

- 16:00 : 駅フェス開始
- 16:15~ : 紙芝居
- 17:00~ : フラメンコ (スタジオエスパニーヤ)
- 18:00~ : チャリティショー (藤原けい)
- 19:00~ : JAZZ 演奏 (Sound Makers)
- 20:00~ : 酒々井音頭 (婦人会)
- 21:00 : 駅フェス終了


時間は目安で変更となることもあります。

紙芝居上演




駅フェスフード

やきそば・餃子・小籠包・唐揚げなど
ビール・ジュース・おつまみ




令和元年度 酒々井町住民公益活動補助金事業

主催 :  NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会

共催: 酒々井まちづくり研究所 協賛: 酒々井町

お問合せ先 : 080-2566-3233 (山本)

開催のことは

酒々井町は、高齢化と生活の多様化によって核家族化が進み独居の家庭が増加し、これに伴って引き籠りや孤立する住民の方々も増加してまいりました。一方、町民の皆様においても、隣人や住民相互の結びつきが希薄になり、コミュニティの形成が困難になる現状にあります。このようなことから、私達NPO法人「輝け酒々井まちづくり研究会」は、町民一人ひとりが隣人や町の出来事に関心を持ち、楽しく有意義に暮らして行ける共助の街を作る活動を行っています。中でも、行政と協働で開催する「駅フェス」は、町民の皆様とまちづくり団体がお互いに繋がる絆づくりを行ってまいりました。この活動をより確実なものとし住民相互の結びつきをより強くすることを目的に今年も「駅フェス」を開催します。多くの町民の皆様にご参加頂き真夏の夕べのひと時を楽しく過ごし、互いに親睦を深め多くの友人を作りましょう。

最後に、ジャズバンド「サウンド メーカーズ」の皆様、フラメンコの「スタジオ エスパーニャ」の皆様、(株)日本クラウンの「藤原 けい」様、お忙しい中、私達の開催趣旨にご賛同頂き、ご協力頂けます事、主催者一同、心から厚く御礼申し上げます。

【しがらき茶屋】

酒々井宿のはずれの東に「しがらき」という茶店がある。茶店は煎茶だけを旅客に振る舞う商いをしている。江戸から佐原までの間で、快く煎茶をいただける。よそにも茶店があるが有りふれた宇治茶ばかりを出している。亭主に尋ねると「煎茶好きが高じて茶店をしている」とのこと。亭主に煎茶はどこから買い求めているかと聞いたら「日本橋二丁目の山本嘉兵衛(山本山)に注文している」と言っていた。片田舎の街道のすばらしい茶屋といえば「しがらき」に限るといえよう。

※参考文献/酒々井風土記 酒々井宿物語より抜粋

【牡丹餅喜兵衛三十石】

酒々井の下宿に喜兵衛どんというかなり裕福な暮らしをしていた旦那様がいた。大の牡丹餅好きで、年から年中牡丹餅をこしらえて切らしたことがない。よその人が食べてくれるとえびす顔で喜ぶ。それも“ただ”なのだから世話がない。当時、酒々井の宿場は盛んだったから有名になり、旅の人が来ても「どうです一つ」鼻ったらし小僧も「おじさん牡丹餅くんねげ」とぞろぞろやって来る。米75俵、小豆に甘味が必要だからたまったもんじゃない。喜兵衛どんとうとう身上つぶしてしまった。当時、牡丹餅は一年に数回しか食べられませんでした。「棚から牡丹餅」の喜兵衛どんは、奇抜な人物で有難い人物といえます。

※ 参考文献/酒々井風土記 酒々井宿物語より抜粋



【私達は、住民によるまちづくりの輪が広がることを願って活動しています】